

【市長との地域懇談会 記録】

開催日時 令和元年8月20日(火)
19:00~20:00

まちづくり協議会区域名 御菌まちづくり協議会

会場 御菌公民館2階講堂

参加者数 34人



《質問・意見》

地方創生を進めていくためには、企業誘致や子育ての環境を整えることが必要。そのためにも特区の認定を受けるなど規制緩和が必要だが、それには職員のレベル向上が必須。職員の人事考課についても相対評価であるべき。民間企業は相対評価、市役所は絶対評価と思うが、人事考課について、どう考えているか。

《回答》【市長】

課長級以上の管理職員については、人事評価制度を導入し、国のルールの中で6段階に分け夏・冬の期末手当で差を付けているが、企業と異なり評価の基準が難しい。

人材育成についても研修だけでなく国、県への出向などにも力を入れている、また、今後は民間への派遣も模索している。おっしゃるとおり人づくりが最重点と思っている。

合併後、正規職員が25%減となったが、国、県からの仕事も増えていることからAI、ICTの技術を活用し業務のICT化を図りたい。

企業誘致に必要な用地についても確保し活用を図っていききたい。

《質問・意見》

おかげバスのルート見直しと増発をして欲しい。

桧尻川の甫蔵主池から厚生第二橋までの流れが悪いので水路の浚渫をしてほしい。

南北幹線道路の中島交差点から豊浜大橋南までの区間(5ヶ所の交差点有り)に信号機がない。宮川堤側にお墓があるが横断するのに危険を感じる。お墓の所か市営住宅の所に信号機を設置してほしい。

《回答》【市長】

今年の秋ぐらいに循環バスも含めたルートの見直しを行うが、大幅な増発やルート変更は難しいと思う。

水路の浚渫については、確認する。

信号や横断歩道の設置については、警察の許可が必要。できれば自治会からの要望として要望をあげていただきたい。

《質問・意見》

地籍調査はいつ頃になるか。

宮川河川敷（JR線～近鉄線）の補修はどうなっているか。

《回答》【市長】

地籍調査については、国、県へ要望している。地域からも声を上げてほしい。

宮川河川敷の補修についても国へ要望している。陳情の際には、そのような声があったことを伝える。

《回答》【基盤整備課長】

高向小俣線の接続部分であり道路事業との関係もあるため連携を取りながら進めていく。

《質問・意見》

高向地区には区長、総代、自治会長が4人いるが、自治会の会議には1人しか出られない。6人出ることはできないのか。

県道ができてから、少しの雨でも水路の水かさが増える。都市計画道路を進める際に、調整池を道路下に埋めるなどの対策はできないのか。

《回答》【御菌総合支所長】

合併後、高向地区において調整をしてもらい決定した事項であるため、変更するのであれば、まず区内で協議してほしい。

《回答》【市長】

ため池を作って伊勢湾に流すことも考えたが、巨額の費用が必要であり、伊勢市の財政規模では困難である。まずは、高向小俣線の整備を最優先に進めていきたい。

《質問・意見》

市役所の職員が、朝夕の通勤時会っても挨拶もしない。こちらから何度も声をかけるようにしたら、ようやく挨拶をするようになった。

伊勢市の歴史館を計画していると聞いたが概要を教えてほしい。

お木曳車を寄附する話をしていたが、予算などの準備もあるため梅雨明けくらいになると聞いていたが、その後の連絡がない。いつになったら取りに来てくれるのか。

《回答》【市長】

挨拶の件については、大変失礼した。最低限の話であるので、徹底を図っていきたい。

郷土資料館は耐震に問題があり取り壊した。現在、いせシティプラザを資料館としてリニューアルできないか計画している。

お木曳車の件については確認し、連絡させていただく。

《質問・意見》

観光客が多いのに、天気予報ではなぜ伊勢地方を言わないのか。

近鉄の回送列車が通過するために、踏切が閉まった状態となって渋滞が発生している。それらを緩和するために、五十鈴川駅付近に用地を求めて車庫を建てられないか。

《回答》【市長】

气象台の計測器の関係もあるかも知れないが、機会があればテレビ局にお願いしてみる。

車庫の話は市の一存でできるものではない。近鉄にもプラスになる話でないと難しいのではないかと思われる。

《質問・意見》

檜原新田で自衛隊のヘリコプターが練習をしているのを見かけるが、ちゃんと許可をとっているのか。

《回答》【市長】

一度調べてみる。

《質問・意見》

国道、県道、市道の白線が消えて見えないので白線の整備をしてほしい。

《回答》【市長】

自治会として優先順位を決めて要望をあげてほしい。